

2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月6日

上場会社名 協和キリン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4151 URL <https://www.kyowakirin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 昌志
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 吉田 聡子 TEL 03-5205-7206
 四半期報告書提出予定日 2021年5月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	81,115	4.9	15,517	△7.4	16,160	4.2	12,921	△6.7	12,921	△6.7
2020年12月期第1四半期	77,293	1.9	16,762	△3.3	15,513	26.6	13,842	70.6	13,842	70.6

四半期包括利益合計額 2021年12月期第1四半期 21,184百万円 (239.5%) 2020年12月期第1四半期 6,240百万円 (△44.3%)

(注) コア営業利益は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「研究開発費」を控除し、「持分法による投資損益」を加えて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	24.05	24.04
2020年12月期第1四半期	25.78	25.76

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	809,072	707,810	707,810	87.5
2020年12月期	801,290	698,396	698,396	87.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	351,000	10.3	65,000	8.4	64,000	22.5	50,000	6.3	50,000	6.3	93.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	540,000,000株	2020年12月期	540,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	2,814,224株	2020年12月期	2,823,975株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	537,182,044株	2020年12月期 1 Q	536,969,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 財政状態に関する説明	2
(2) 経営成績に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	7
(4) 研究開発活動	8
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	10
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	11
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	11
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	13
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	15
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	17
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	18
(継続企業の前提に関する注記)	18
(表示方法の変更)	18
(セグメント情報)	18

(2) 経営成績に関する説明

① 業績の概況

当社グループは、グローバルに事業を展開しておりますことから、国際会計基準（以下「IFRS」という。）を適用しておりますが、事業活動による経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を採用しております。当該「コア営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」及び「研究開発費」を控除し、「持分法による投資損益」を加えて算出しております。

(単位：億円)

	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	増減	前年同期比 %
売上収益	773	811	38	4.9%
コア営業利益	168	155	△12	△7.4%
税引前四半期利益	155	162	6	4.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	138	129	△9	△6.7%

<期中平均為替レート>

通貨	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	増減
米ドル (USD/円)	110円	105円	△5円
英ポンド (GBP/円)	143円	143円	－円
中国元 (CNY/円)	15.7円	16.1円	0.4円

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日から3月31日までの3か月間）の売上収益は811億円（前年同期比4.9%増）、コア営業利益は155億円（同7.4%減）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は129億円（同6.7%減）となりました。

- ◎ 売上収益は、日本は減収となったものの、北米及びEMEAにおいてグローバル戦略品が順調に伸長し、アジアにおいても中国を中心に好調に推移した結果、増収となりました。なお、売上収益に係る為替の減収影響は9億円となりました。
- ◎ コア営業利益は、海外売上収益の増収により売上総利益が増益となったものの、販売費及び一般管理費が増加し、減益となりました。なお、コア営業利益に係る為替の減益影響は4億円となりました。
- ◎ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、その他の費用が減少したものの、コア営業利益の減益に加え、法人所得税費用が増加したため、減益となりました。

② 地域統括会社別の売上収益

(単位：億円)

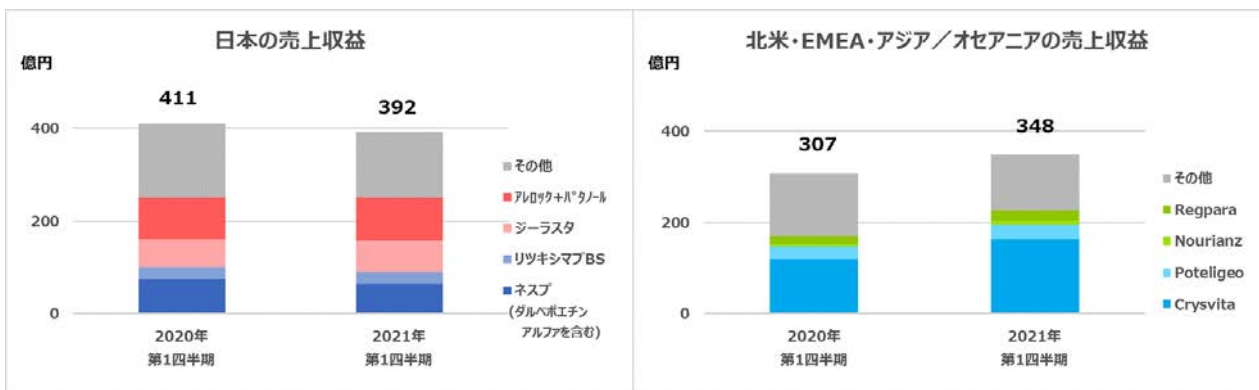
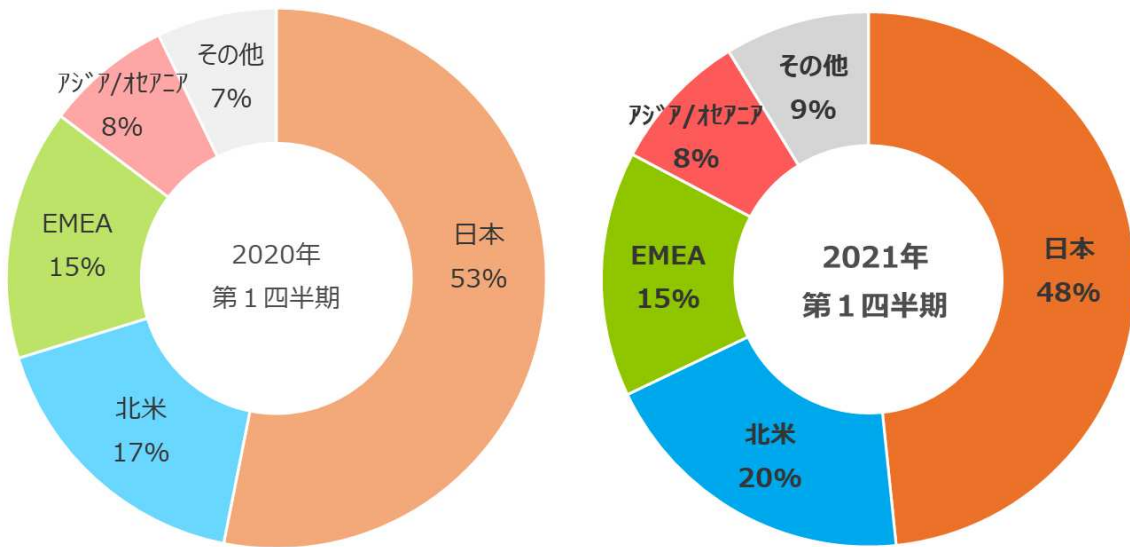
	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	増減	前年同期比 %
日本	411	392	△18	△4.5%
北米	132	159	27	20.1%
EMEA	116	120	4	3.5%
アジア/オセアニア	58	69	10	17.9%
その他	55	71	16	28.2%
売上収益合計	773	811	38	4.9%

(注) 1. One Kyowa Kirin 体制 (日本・北米・EMEA・アジア/オセアニアの4つの「地域」とグローバル・スペシャリティファーマとして必要な「機能」を軸とするグローバルマネジメント体制)における地域統括会社(連結)の製商品の売上収益を基礎として区分しております。

2. EMEAは、ヨーロッパ、中東及びアフリカ等であります。

3. その他は、技術収入及び受託製造等であります。

地域統括会社別売上収益構成比



<日本の概況>

(単位：億円)

	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	増減	前年同期比 %
ダルベポエチン アルファ注シリンジ 「KKF」	63	55	△7	△11.8%
ジーラスタ	61	66	5	7.5%
ロミプレート	20	15	△5	△24.0%
パタノール	59	65	6	11.1%
クリースピータ	5	15	10	181.6%
ハルロピ	1	6	5	504.0%
(参考) アサコール・ミニリンメルト ・デスマプレシン	15	—	△15	△100.0%

- ◎ 日本の売上収益は、FGF23関連疾患治療剤クリースピータ等の新製品群が伸長したものの、2020年4月に実施された薬価基準引下げの影響があったことに加え、一部製品の共同販売等終了の影響により、前年同期に比べ減少しました。
- ・腎性貧血治療剤ダルベポエチン アルファ注シリンジ「KKF」は、競合品の浸透の影響を受け、売上収益が減少しました。
 - ・発熱性好中球減少症発症抑制剤ジーラスタは、堅調に売上収益を伸ばしました。
 - ・慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤ロミプレートは、特約店への出荷調整（2020年6月から2021年3月まで）により、売上収益が減少しました。
 - ・抗アレルギー点眼剤パタノールは、花粉飛散量の増加により、売上収益が増加しました。
 - ・FGF23関連疾患治療剤クリースピータ及びパーキンソン病治療剤ハルロピは、2019年の発売以来、順調に市場浸透しております。
 - ・潰瘍性大腸炎治療剤アサコールは2020年3月31日をもって、中枢性尿崩症用剤ミニリンメルト及びデスマプレシンは2020年4月27日をもって、それぞれ当社による販売を終了したことにより、売上収益が減少しました。

<北米・EMEA・アジア／オセアニアの概況>

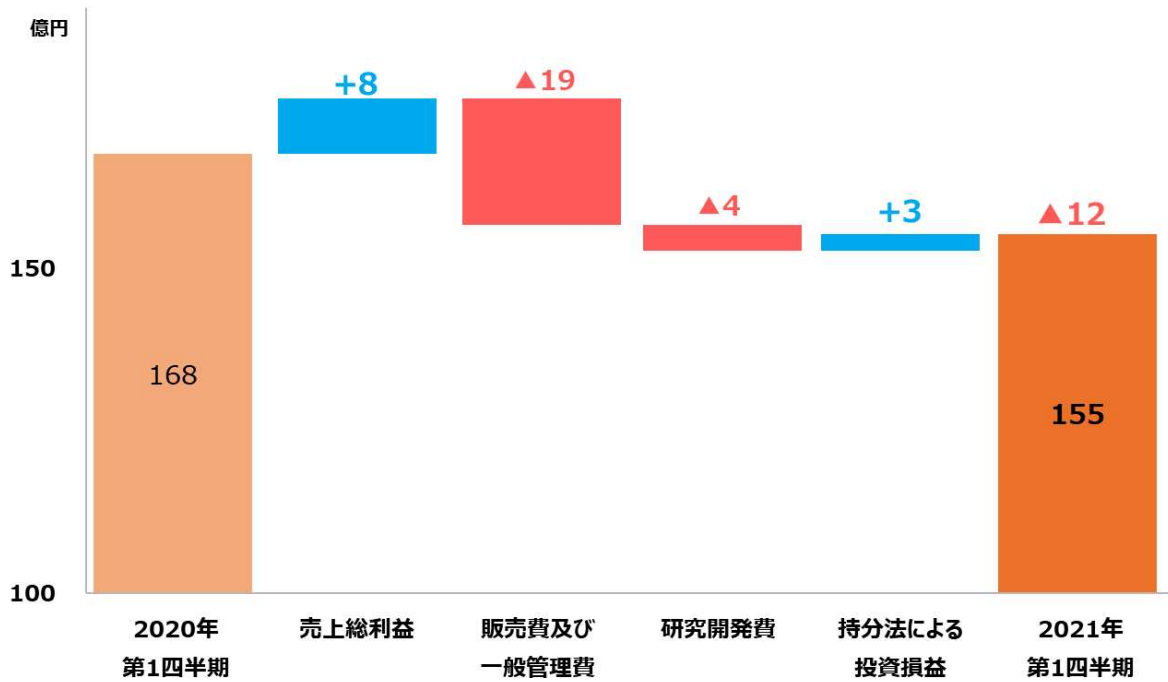
(単位：億円)

	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	増減	前年同期比 %
Crysvita	120	163	43	36.0%
Poteligeo	29	32	2	7.8%
Nourianz	4	10	6	168.2%
Regpara	17	22	5	30.9%
Abstral	28	18	△10	△35.4%

- ◎ 北米の売上収益は、グローバル戦略品が順調に伸長し、前年同期を上回りました。
- ・X染色体連鎖性低リン血症治療剤Crysvita（日本製品名：クリースピータ）は、2018年の発売以来、順調に売上収益を伸ばしております。2020年6月には腫瘍性骨軟化症（TIO）の適応追加の承認を取得しました。
 - ・抗悪性腫瘍剤Poteligeo（日本製品名：ポテリジオ）は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、前年同期並みの売上収益となりました。
 - ・パーキンソン病治療剤Nourianz（日本製品名：ノウリアスト）は、2019年の発売以来、順調に市場浸透しております。
- ◎ EMEAの売上収益は、グローバル戦略品が順調に伸長し、前年同期を上回りました。
- ・X染色体連鎖性低リン血症治療剤Crysvita（日本製品名：クリースピータ）が、2018年の発売以来、上市国を拡大しながら順調に売上収益を伸ばしております。2020年9月には青少年及び成人への適用拡大の販売承認を取得しました。
 - ・2020年6月にドイツにおいて抗悪性腫瘍剤Poteligeo（日本製品名：ポテリジオ）の販売を開始し、上市国を拡大しながら順調に市場浸透しております。
 - ・癌疼痛治療剤Abstral（日本製品名：アブストラル）は、後発医薬品の浸透の影響や出荷調整等により、売上収益が前年同期を下回りました。
- ◎ アジア／オセアニアの売上収益は、中国を中心に好調に推移し、前年同期を上回りました。
- ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤Regpara（日本製品名：レグパラ）は、中国での市場拡大により、売上収益が増加しました。

- ◎ その他の売上収益は、前年同期を上回りました。
- ・アストラゼネカ社からのベンラリズマブに関する売上ロイヤルティの増加に加え、抗LIGHTヒト型モノクローナル抗体に関する全ての適応症及び全世界での開発、製造及び販売の権利をアーヴィ ジェノミック メディシン社に許諾する契約を締結したことに伴い技術収入が増加しました。

③ コア営業利益



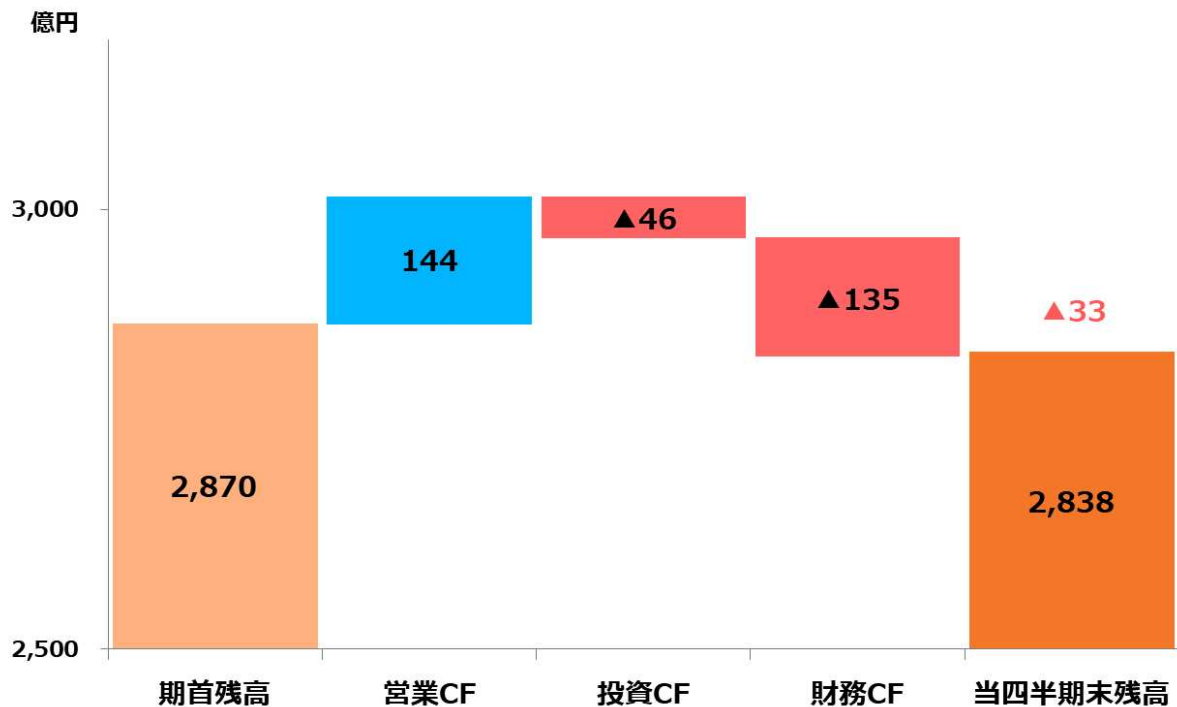
- ◎ コア営業利益は、グローバル戦略品を中心とした海外の売上収益の増加に伴う売上総利益の増加があったものの、グローバル戦略品の価値最大化と競争力あるグローバルビジネス基盤の早期確立に向けた販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期に比べ減益となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

(単位：億円)

	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	増減	前年同期比 %
営業活動によるキャッシュ・フロー	6	144	138	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,003	△46	△1,049	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125	△135	△10	7.9%
現金及び現金同等物の期首残高	208	2,870	2,663	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,080	2,838	1,758	162.8%

- ◎ 当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末の2,870億円に比べ33億円減少し、2,838億円となりました。
- 当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。
- ◎ 営業活動によるキャッシュ・フローは、144億円の収入（前年同期は6億円の収入）となりました。主な収入要因は、税引前四半期利益162億円、減価償却費及び償却費47億円等であります。一方、主な支出要因は、法人所得税の支払額45億円等であります。
- ◎ 投資活動によるキャッシュ・フローは、46億円の支出（前年同期は1,003億円の収入）となりました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出30億円、無形資産の取得による支出16億円等であります。
- ◎ 財務活動によるキャッシュ・フローは、135億円の支出（前年同期は125億円の支出）となりました。主な支出要因は、配当金の支払額118億円等であります。



(4) 研究開発活動

当社グループは、研究開発活動へ資源を継続的かつ積極的に投入しております。多様なモダリティを駆使して画期的新薬を生み出すプラットフォームを築く技術軸と、これまで培った疾患サイエンスを活かしつつ有効な治療法のない疾患に“only-one value drug”を提供し続ける疾患軸の両方を進化させ、競合優位性の高いパイプラインを構築し、Life-changingな価値をもつ新薬をグローバルに展開することを目指しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は122億円であり、主な後期開発品の各疾患領域における進捗は、次のとおりであります。（◆は当第1四半期連結会計期間の進捗）

腎領域

RTA402

- ◆ 1月に日本において常染色体優性多発性嚢胞腎を適応症とした第Ⅲ相試験を開始しました。

がん領域

KRN125（日本製品名：ジーラスト）

- ◆ 3月に日本において同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員を適応症とした承認事項一部変更承認申請を行いました。

その他

KRN23（日本製品名：クリースピータ、欧米製品名：Crsvita）

- ◆ 1月に欧州において腫瘍性骨軟化症を適応症とした生物学的製剤承認一部変更申請が受理されました（2020年12月申請）
- ◆ 1月に中国においてX染色体連鎖性低リン血症性くる病・骨軟化症を適応症として承認されました。
- ◆ 3月に中国において腫瘍性骨軟化症を適応症として承認されました。

 抗体
  たんぱく製剤
  低分子化合物
 開発番号の◎は新規成分
  2020年12月31日からの進捗
  2020年12月31日からの進捗

開発番号 一般名 剤型		作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					2021年3月31日現在 [自社or導入] 備考
					第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請	承認	
	KHK7580 Evocalcet 経口剤	カルシウム受容体作動薬	二次性副甲状腺機能亢進症	中国 アジア						[田辺三菱製薬(株)] 日本製品名：オルケディア
	◎ RTA 402 Bardoxolone Methyl 経口剤	Antioxidant Inflammation Modulator	糖尿病性腎臓病	日本						[Reata社]
			常染色体優性多発性嚢胞腎	日本						
	KW-3357 Antithrombin Gamma 注射剤	遺伝子組換えヒトアンチトロンピン	妊娠高血圧腎症	日本						[自社] 日本製品名：アコアラン
	KHK7791 Tenapanor 経口剤	NHE3阻害剤	維持透析下の高リン血症	日本						[Ardelyx社]

がん領域

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請	承認	
 KW-0761 Mogamulizumab 注射剤	ヒト化抗CCR4抗体	菌状肉腫およびセザリ-症候群	豪州	→					[自社] ボテリジェント抗体 日本製品名：ポテリジオ 欧米製品名：Poteligeo
			スイス サウジアラビア 韓国	→					
			カナダ クウェート	→					
 ◎KHK2375 Entinostat 経口剤	ヒストン脱アセチル化酵素阻 害剤	乳がん	日本	→					[Syndax社]
 KRN125 Pegfilgrastim 注射剤	持続型顆粒球コロニー形成 刺激因子	同種末梢血幹細胞移植のための造 血幹細胞の末梢血中への動員	日本	→					[Kirin-Amgen社] 日本製品名：ジラスタ
		がん化学療法による発熱性好中球 減少症の発症抑制を適応症とした 自動投与デバイス	日本	→					
 ◎KHK2455 経口剤	IDO1阻害剤	固形がん	北米	→					[自社] KW-0761との併用
		膀胱がん	北米	→					[自社] Avelumabとの併用
			欧州	→					
 ◎ME-401 Zandelisib 経口剤	PI3Kδ阻害剤	低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ 腫	日本	→					[MEI Pharma社]
		B細胞悪性腫瘍	北米	→					
		濾胞性リンパ腫	北米 欧州 アジア オセアニア	→					

免疫・アレルギー疾患領域

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請	承認	
 KHK4827 Brodalumab 注射剤	ヒト型抗IL-17受容体A抗 体	全身性強皮症	日本	→					[Kirin-Amgen社] 日本製品名：ルミセフ
		掌蹠腫瘍症	日本	→					
 ◎KHK4083 注射剤	ヒト型抗OX40抗体	アトピー性皮膚炎	日本 北米 欧州	→					[自社] ボテリジェント抗体 ヒト抗体産生技術を使用
 ◎ASKP1240 Bleselumab 注射剤	ヒト型抗CD40抗体	腎移植患者における再発性巣状糸 球体硬化症	北米	→					[自社] ヒト抗体産生技術を使用 アステラス製薬(株)と共同開発

中枢神経領域

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請	承認	
 KW-6002 Istradefylline 経口剤	アデノシンA _{2A} 受容体拮抗剤	パーキンソン病	欧州	→					[自社] 日本製品名：ノクリアスト 米国製品名：Nourianz
 KW-0761 Mogamulizumab 注射剤	ヒト化抗CCR4抗体	HTLV-1関連脊髄症	日本	→					[自社] ボテリジェント抗体 日本製品名：ポテリジオ 欧米製品名：Poteligeo
 ◎KW-6356 経口剤	アデノシンA _{2A} 受容体拮抗剤/逆作動剤	パーキンソン病	日本	→					[自社]
 ◎KHK6640 注射剤	抗アミロイドβペプチド抗体	アルツハイマー型認知症	日本 欧州	→					[イムナス・ファーマ(株)]

その他

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第I相	第II相	第III相	申請	承認	
 KRN23 Burosumab 注射剤	ヒト型抗FGF23抗体	X染色体連鎖性低リン血症	中国 バーレーン	→	→	→	→	→	[自社] ヒト抗体産生技術を使用 欧米においてUltragenyx社と共同 開発 日本製品名：クリスピータ 欧米製品名：Crysvita
			豪州 サウジアラビア シンガポール	→	→	→	→	→	
			タイ マレーシア	→	→	→	→	→	
		腫瘍性骨軟化症	中国	→	→	→	→	→	
			欧州	→	→	→	→	→	
			カナダ	→	→	→	→	→	
 AMG531 Romiplostim 注射剤	トロンボエチン受容体作動薬	既存治療で効果不十分な再生不良性貧血	アジア	→	→	→	第II/ 第III相	[Kirin-Amgen社] 日本製品名：ロミプレート	
		慢性特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病	中国	→	→	→	→		
		免疫抑制療法未治療の再生不良性貧血	日本 アジア	→	→	→	→		第II/ 第III相
 KW-3357 Antithrombin Gamma 注射剤	遺伝子組換えヒトアンチトロンビン	先天性アンチトロンピン欠乏に基づく血栓形成傾向、アンチトロンピン低下を伴う播種性血管内凝固症候群	欧州	→	→	→	→	[自社] 日本製品名：アコアラン	
 KHK4951		滲出型加齢黄斑変性	日本	→	→	→	→	[自社]	

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月4日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	76,012	75,132
のれん	132,695	135,619
無形資産	75,027	76,427
持分法で会計処理されている投資	9,475	10,427
その他の金融資産	17,323	18,150
退職給付に係る資産	14,674	14,316
繰延税金資産	33,133	35,633
その他の非流動資産	468	440
非流動資産合計	358,808	366,143
流動資産		
棚卸資産	51,281	55,093
営業債権及びその他の債権	92,287	92,564
その他の金融資産	636	744
その他の流動資産	6,161	5,669
現金及び現金同等物	287,019	283,763
小計	437,385	437,833
売却目的で保有する資産	5,097	5,097
流動資産合計	442,482	442,929
資産合計	801,290	809,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	463,967	463,995
自己株式	(3,545)	(3,506)
利益剰余金	226,639	227,742
その他の資本の構成要素	(15,410)	(7,167)
親会社の所有者に帰属する持分合計	698,396	707,810
資本合計	698,396	707,810
負債		
非流動負債		
退職給付に係る負債	216	246
引当金	7,823	7,756
繰延税金負債	92	105
その他の金融負債	13,159	12,951
その他の非流動負債	854	1,023
非流動負債合計	22,145	22,082
流動負債		
営業債務及びその他の債務	54,867	55,284
引当金	2,027	1,508
その他の金融負債	5,123	5,026
未払法人所得税	4,661	2,854
その他の流動負債	14,070	14,508
流動負債合計	80,749	79,181
負債合計	102,894	101,262
資本及び負債合計	801,290	809,072

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	77,293	81,115
売上原価	(19,413)	(22,392)
売上総利益	57,880	58,723
販売費及び一般管理費	(29,702)	(31,651)
研究開発費	(11,800)	(12,193)
持分法による投資損益	384	637
その他の収益	248	208
その他の費用	(1,860)	(176)
金融収益	440	705
金融費用	(77)	(95)
税引前四半期利益	15,513	16,160
法人所得税費用	(1,671)	(3,239)
四半期利益	13,842	12,921
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,842	12,921
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	25.78	24.05
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	25.76	24.04

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益	13,842	12,921
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	(999)	446
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	(72)	—
純損益に振替えられることのない項目合計	(1,071)	446
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	(6,508)	7,791
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	(23)	26
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	(6,531)	7,817
その他の包括利益	(7,602)	8,263
四半期包括利益	6,240	21,184
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,240	21,184

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2020年1月1日残高	26,745	463,893	(3,792)	201,253	751	(13,647)
四半期利益	—	—	—	13,842	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	(6,531)
四半期包括利益合計	—	—	—	13,842	—	(6,531)
剰余金の配当	—	—	—	(11,813)	—	—
自己株式の取得	—	—	(4)	—	—	—
自己株式の処分	—	(0)	118	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	(83)	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	(73)	—	—
所有者との取引額合計	—	(0)	114	(11,885)	(83)	—
2020年3月31日残高	26,745	463,892	(3,678)	203,209	668	(20,178)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2020年1月1日残高	3,047	—	(9,849)	678,250	678,250	
四半期利益	—	—	—	13,842	13,842	
その他の包括利益	(999)	(73)	(7,602)	(7,602)	(7,602)	
四半期包括利益合計	(999)	(73)	(7,602)	6,240	6,240	
剰余金の配当	—	—	—	(11,813)	(11,813)	
自己株式の取得	—	—	—	(4)	(4)	
自己株式の処分	—	—	—	117	117	
株式に基づく報酬取引	—	—	(83)	(83)	(83)	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	73	73	—	—	
所有者との取引額合計	—	73	(11)	(11,783)	(11,783)	
2020年3月31日残高	2,048	—	(17,462)	672,707	672,707	

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2021年1月1日残高	26,745	463,967	(3,545)	226,639	596	(17,915)
四半期利益	—	—	—	12,921	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	7,817
四半期包括利益合計	—	—	—	12,921	—	7,817
剰余金の配当	—	—	—	(11,818)	—	—
自己株式の取得	—	—	(5)	—	—	—
自己株式の処分	—	5	14	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	23	30	—	(19)	—
所有者との取引額合計	—	28	39	(11,818)	(19)	—
2021年3月31日残高	26,745	463,995	(3,506)	227,742	576	(10,098)

	親会社の所有者に帰属する持分			資本合計
	その他の資本の構成要素		合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計		
2021年1月1日残高	1,909	(15,410)	698,396	698,396
四半期利益	—	—	12,921	12,921
その他の包括利益	446	8,263	8,263	8,263
四半期包括利益合計	446	8,263	21,184	21,184
剰余金の配当	—	—	(11,818)	(11,818)
自己株式の取得	—	—	(5)	(5)
自己株式の処分	—	—	19	19
株式に基づく報酬取引	—	(19)	34	34
所有者との取引額合計	—	(19)	(11,770)	(11,770)
2021年3月31日残高	2,355	(7,167)	707,810	707,810

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	15,513	16,160
減価償却費及び償却費	4,695	4,660
減損損失及び減損損失戻入益(益)	54	(54)
引当金の増減額(減少)	845	(639)
持分法による投資損益(益)	(384)	(637)
棚卸資産の増減額(増加)	(5,019)	(1,150)
営業債権の増減額(増加)	(3,144)	1,942
営業債務の増減額(減少)	2,687	380
法人所得税の支払額	(14,784)	(4,501)
その他	153	(1,756)
営業活動によるキャッシュ・フロー	617	14,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	(3,466)	(2,960)
無形資産の取得による支出	(95)	(1,590)
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	(500)	—
親会社に対する貸付金の純増減額(増加)	103,300	—
その他	1,015	(88)
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,253	(4,638)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	(696)	(851)
自己株式の取得による支出	(4)	(5)
配当金の支払額	(11,813)	(11,818)
その他	34	(788)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(12,478)	(13,462)
現金及び現金同等物に係る換算差額	(1,189)	440
現金及び現金同等物の増減額(減少)	87,203	(3,256)
現金及び現金同等物の期首残高	20,762	287,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	107,965	283,763

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、投資家との対話を推進するなか連結財務諸表利用者の利便性向上の観点から、2021-2025年中期経営計画の開始にあたり、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書及び要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、当年度情報の次に比較年度情報を記載する並びから、比較年度情報の次に当年度情報を記載する並びに変更しております。

(セグメント情報)

当社グループは、「医薬事業」の単一セグメントであるため、報告セグメント別の記載は省略しております。